



世界へのプレゼントになろう

Kawi

K. R. ラビンドラン
2015-16年度国際ロータリー会長



No. 24

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

“ロータリーをもっと知ろう”

- ① ロータリーは親睦から
- ② 友愛奉仕活動を見直そう
- ③ 地区を知ろう

例会記録 (2016. 1. 15 (金)) 通算3,063回

◆開会

◆唱歌 ロータリーソング「我等の生業」

◆「四つのテスト」唱和

◆ゲスト紹介

高砂市長 登 幸人様

米山奨学生 ラウンピタクサ・チョンニカーン様

◆歓迎歌 「松の緑」

◆プログラム予定

| 1月22日 (金) | 1月29日 (金) | 2月5日 (金) | 2月13日 (土) |
|----------------------------------|------------------------|-------------------------------|----------------------------|
| クラブフォーラム 「上期中間報告」 会長・幹事・会計 | 職場移動例会 (株)カネカ 高砂工業所 | 卓話 「目の心配あれこれ・・・」 坂井智代会員 | 東播第2グループ I. M. (12日例会分) |

◆奨学金贈呈

米山奨学生 ラウンピタクサ・チョンニカーン様



◆ポール・ハリス・フェロー授与

丸山恵右会員



◆出席報告

| | | | | |
|-----|--------|--------|----------|-------------|
| 本日 | 1月15日 | 会員数41名 | 出席者28名 | 出席率75.67% |
| 前々回 | 12月18日 | 会員数41名 | 修正出席者33名 | 出席率94.30%修正 |

◆MAKE-UP

| | | |
|---------|------------------------|-------------------|
| 谷川こずえ会員 | 2015-16年度 クラブ奉仕セミナー | 9月12日(1月8日) |
| 福島 弥一会員 | e-CLUB | 1月15日(1月15日) |
| 守光 隆会員 | e-CLUB | 1月14日(1月8日) |
| 稲垣 直人会員 | e-CLUB | 1月13日(1月15日) |
| 田代 和幸会員 | e-CLUB | 1月11日(1月15日) |
| 福島 弥一会員 | e-CLUB | 1月8日(1月8日) |
| 桂田 重信会員 | e-CLUB | 1月14日(1月22日) |
| 桂田 重信会員 | 2014-15年度地区大会 | 2015年2月28日(1月29日) |
| 後藤 純次会員 | 2013-14年度地区大会 | 3月2日(12月18日) |
| 丸山 恵右会員 | 職業奉仕増強拡大合同セミナー | 12月6日(1月8日) |

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

佐野 敏晴会長……登高砂市長様、本日はお忙しい中、お越し頂きありがとうございます。
後藤 純次幹事……登高砂市長様、本日はお忙しい中、お越し頂きありがとうございます。
山名 克典会員……登高砂市長様、本日はお忙しい中、お越し頂きありがとうございます。
早退1名

◆幹事報告（3,063回）

〈国際ロータリー日本事務局より〉

◎2月の「平和と紛争予防／紛争解決月間」のリソースが届いております。

〈米山記念奨学会より〉

◎2015年度下期普通寄付金のお願いが届いております。

〈例会変更のお知らせ〉

◎明石RC

2月10日(水) → 休会

3月30日(水) → 3月29日(火) 明石北RCとの合同例会

於：グリーンヒルホテル明石

◎加古川平成RC

2月17日(水) → 2月13日(土) 14:30～ 東播第2グループIM.

於：加古川プラザホテル 2F

◎高砂青松RC

2月10日(水) → 2月13日(土) 14:30～ 東播第2グループIM.

於：加古川プラザホテル 2F

2月17日(水) → 例会場変更 於：ユアンド帆つとセンター

◎加古川中央RC

1月21日(木) → 職場例会 於：オークラ輸送機工場(株) 本社工場

2月11日(木) → 休会

2月18日(木) → 2月13日(土) 14:30～ 東播第2グループIM.

於：加古川プラザホテル



後藤純次幹事

◆会長の時間

本日は、恒例の高砂市長さまによる新春放談です。高砂市が誕生したのは昭和29年ですから本年で62歳になると思います。改めて、高砂の歴史について考えて見たいと思います。高砂市は、曾根町の日笠山や中央部の竜山などの丘陵地で多くの遺跡が発見されており、日笠山貝塚からは縄文式中期の様式の土器片が発見され原始・古代から人々が暮らしていた証拠が残っています。また、近世になって高砂が発展したのは、姫路藩主池田輝政公が慶長6年（1601年）に加古川の流れを高砂に導いて加古川舟運の河口港を開き、その後、本田忠正公によって本格的な町づくりが進められ加古川流域の物資の集散地になってからのことだそうです。この時代には米作りや製塩業、綿業、採石業などの地場産業が発展し商品流通も盛んに行われたようです。

近現代には、ご存じのように遠浅の海岸を埋め立て多くの大企業が工場進出し発展してきた町です。

昭和29年には高砂町・荒井村・伊保村・曾根町が合併し高砂市が誕生、その後昭和

31年には阿弥陀村・米田町を合併、翌年北浜村を合わせて現在の高砂市になっています。

私は、曾根生まれの曾根育ちですので曾根町についてもう少しお話ししたいと思います。

先ほど紹介した日笠山は、大和時代の万葉集にも詠われ風光明媚な土地として知れ渡っていたようです。平安時代901年には菅原道真がこの地に寄港したとの言い伝えもあります。室町時代には塩田が開かれ製塩業が始まっています。江戸時代には曾根は製塩があり北は山陽道、南は瀬戸内海に面しているため曾根の一部が徳川直轄地になっていたようです。明治時代には、曾根港を利用して九州、朝鮮、北海道、東京と幅広い地域で商売を行っていたようで当時、印南郡内で初めての劇場や歓楽街もあり印南郡唯一の歓楽地であったようです。その後、高砂町も同じですが商業都市の形態が海上交通から、陸上交通に移り曾根町の商業も衰退しはじめたそうです。その後は先ほど話をしたように、高砂市が誕生し、海岸は播磨工業地帯の一翼をになうようになったそうです。こうしてみると街の発展には交通と大きな関係があると思います。

登市長さまには、高砂のかじ取り役としてこれからもがんばっていただきたいと思います。本日の新春放談よろしくお願ひいたします。



佐野敏晴会長

◆本日のプログラム

卓話「新春放談」

高砂市長 登 幸人 様



坂井智代プログラム委員長



登 幸人 高砂市長



会 長 佐野 敏晴 幹 事 後藤 純次
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 堤 哲雄
例会会場 高砂商工会議所 2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/